

広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER

リーダーたちの本棚 vol.48



三菱UFJ信託銀行 取締役社長

若林辰雄さん

わかばやし たつお

「信託銀行は、お客様の財産をお引き受けし、管理・運用しています。私たち信託銀行員は、受託者責任の重みを常に認識し、社会の公器たる高い倫理意識を持たなければなりません。人としてどうあるべきか。良書はしばしば道しるべとなってくれます。預金・貸し出し・為替などの銀行業務に加えて、年金信託などの信託業務、不動産の仲介や証券代行業務などを行う三菱UFJ信託銀行。取締役社長の若林辰雄さんは、12年間の海外勤務を含めて30年以上にわたる営業畑を歩み、昨年4月から経営のかじを取る。

宮大工の生き様をわが手本に

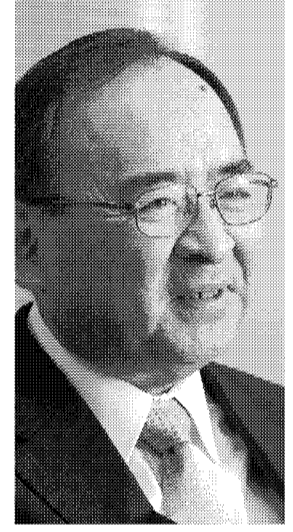
好きな作家や興味を持った内容の関連本を数珠つなぎに読んでいくタイプで、気に入ると何度も読み返します。中でも「木のいのち」の木のころ(天・地・人)は、自分のバイブルとなっていて、法隆寺宮大工の棟梁で、葉師寺金堂や西塔の再建にあたった西岡常一さんと、お弟子さんの小川三夫さんの生き様を聞き書きで著した本です。「大工というのは仕事ですが、その前に人間なんです。大工へ

本を通して自らに問いかける 「信託」に足る人間とは……

「信託銀行について、自分とは縁遠い存在だと感じられる方もいるかも知れませんが、高齢化が進む中、より身近なものになっていくと確信しています。」と力強く語る若林さん。三菱UFJ信託銀行が業界をリードして注力する新商品や新サービスの提供、特約付き金銭信託「すつ」と安心信託「そら」の一つ。元本保証、管理手数料無料の貯蓄型商品で、自身の老後の備えに加え、残された家族のために葬儀費用や長期にわたる生活資金を準備できる。「私の親もそうですが、家族に迷惑をかけたくないというのが高齢者の最大の願い。一方で、いつかは自ら財産を管理できないようになるのではないかと不安も

実は身近な存在なんです——「信託銀行」

「信託銀行は、お客様の財産をお引き受けし、管理・運用しています。私たち信託銀行員は、受託者責任の重みを常に認識し、社会の公器たる高い倫理意識を持たなければなりません。人としてどうあるべきか。良書はしばしば道しるべとなってくれます。預金・貸し出し・為替などの銀行業務に加えて、年金信託などの信託業務、不動産の仲介や証券代行業務などを行う三菱UFJ信託銀行。取締役社長の若林辰雄さんは、12年間の海外勤務を含めて30年以上にわたる営業畑を歩み、昨年4月から経営のかじを取る。『信託の背景にある「心の風景」を読み取る』最後は、「信託の背景にある」です。著者は、日銀理事、信託協会副会長、預金保険機構理事などを歴任された永田俊さんです。まえがきにもありますが、本書は金融実務書とも法律専門書とも違い、ローマ時代から洋の東西を問わず発展してきた信託の歴史や逸話を通じて「信託の精神」を描き出した一冊です。2007年、80余年ぶりに信託法制が抜本改正され、金融ビジネスの最先端でも信託の利用が大いに進みました。永田さんは、金融商品やサービスを自由に設計できる機能と、受託者が重い責任を負う安全維持機能、いわばフリー、フェアという二つの性質を兼ね備えた信託の器として、改めて信託が目玉を明確に指摘したうえで、「自由は商品の違いを明らかにし、取引・業務・市場の公正さや白黒の下におく、管理・運用のパフォーマンスもきちんと評価され、受託者の器の違いはつきり示される。今こそ信託に関心する人が、足元を見直し信託の歴史、文化、精神に対する理解を深めるべきである」と述べています。私は本書から「信託に足る人間であれ」というメッセージを受け取りました。「一人としてどうあるべきか」を不ずらす冊の紹介となりました。



1952年広島県生まれ。77年一橋大学法学部卒。同年三菱信託銀行(現・三菱UFJ信託銀行)入社。84年から90年ニューヨーク、97年から03年ロンドン勤務。99年三菱三菱トラスト・インターナショナル社長。09年専務取締役。12年4月から現職。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、若林辰雄さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com

若林辰雄さんがすすめる5冊

「木のいのち木のころ(天・地・人)」(新潮文庫) 西岡常一・小川三夫・塩野米松・著
最後の宮大工「西岡常一が木と人の育て方を語る(天)の巻、三度追い返されながらついに西岡の唯一の弟子となった小川三夫が宮大工の未来を語る(地)の巻、小川が主宰する「職工舎」の若者19人へのインタビュー(人)の巻から成る。

「生命のパカカ」(講談社) 村上和雄・著
人間が不可能を可能にするとは何か。「遺伝子はONにもOFFにもなる」「半パカカになる!」「究極のプラス発想!」など、ノーベル賞に近い日本人とされる著者が、自らの体験と科学の視点から、隠された力について語り尽くす一冊。

「信託」の背景にある「心の風景」を読み取る
最後は、「信託の背景にある」です。著者は、日銀理事、信託協会副会長、預金保険機構理事などを歴任された永田俊さんです。まえがきにもありますが、本書は金融実務書とも法律専門書とも違い、ローマ時代から洋の東西を問わず発展してきた信託の歴史や逸話を通じて「信託の精神」を描き出した一冊です。2007年、80余年ぶりに信託法制が抜本改正され、金融ビジネスの最先端でも信託の利用が大いに進みました。永田さんは、金融商品やサービスを自由に設計できる機能と、受託者が重い責任を負う安全維持機能、いわばフリー、フェアという二つの性質を兼ね備えた信託の器として、改めて信託が目玉を明確に指摘したうえで、「自由は商品の違いを明らかにし、取引・業務・市場の公正さや白黒の下におく、管理・運用のパフォーマンスもきちんと評価され、受託者の器の違いはつきり示される。今こそ信託に関心する人が、足元を見直し信託の歴史、文化、精神に対する理解を深めるべきである」と述べています。私は本書から「信託に足る人間であれ」というメッセージを受け取りました。「一人としてどうあるべきか」を不ずらす冊の紹介となりました。

「少しだけ、無理をして生きる」(新潮文庫) 城山三郎・著
大変な無理だと続かない。大事なものは、ほんの少しだけ、自分を無理な状態に置く。つまり挑戦し続けることなのだ。城山が結了され、小説の題材とした数々の英傑たちのエピソードを通じて、真の人間の魅力について語り尽くす一冊。

「少しだけ、無理をして生きる」(新潮文庫) 城山三郎・著
大変な無理だと続かない。大事なものは、ほんの少しだけ、自分を無理な状態に置く。つまり挑戦し続けることなのだ。城山が結了され、小説の題材とした数々の英傑たちのエピソードを通じて、真の人間の魅力について語り尽くす一冊。

「ゴルフを以てて人を観る」のお話 (日本経済新聞出版社) 夏坂健・著
ゴルフは自分の性格が最も露呈されるスポーツ。だからこそ礼節が大切なのだ。各界で活躍するゴルフ愛好家たちとラウンドをともしながら、くんでもつきぬゴルフのエスプリをユーモアたっぷりに綴る。「読むゴルフ」の決定版。

「新版 信託のすすめ」(文藝春秋出版) 永田俊一・著
信頼の心を法的理念として制度化された信託は、個人から国家まで結びつける。その起源から法制化まで、金融界の信託通として知られ、現在三菱銀行社長を務める著者がわかりやすく解説。著者と各界著名人20人の「信託対談」併録。

心屋仁之助の今ある悩みをズバリ解決します! 不安・イライラがなくなる本
性格リフォームカウンセラー
「心が凹んだとき」に読む本 好評既刊 10万部突破!!
「心屋仁之助」の決定版! テレビで話題! 「性格リフォームの匠」の決定版!
この「一言」を口にすることで...
ま、いっか
おもしろくなってきた
押してもいい
実は、今が幸せかも
知ったこっちゃない
...人生が劇的に変わり始める!
写真=富本真之

眠れないほど面白い「古事記」 17万部突破!!
由良弥生
愛と野望、エロスが渦巻く壮大な物語 読み始めたばかり、もうやめられない!
「徒然草」に学ぶ後悔しない人生 5刷
50代から上手に生きる人ムダに生きる人 5刷
清水義範

知的生きかた文庫
図解 早わかり! 親鸞と浄土真宗 最新刊
浄土真宗本願寺派 本山住持 早島大英 監修 ISBN978-4-8379-8174-9 600円
超訳 ほっと安らぐ一言、ほっと気づかされる一句 般若心経 5刷
「すべて」の悩みが小さく見えてくる 境野勝悟 ISBN978-4-8379-8161-9 600円

三笠書房 おかけさまで創業80周年
最新書き下ろしエッセイ
思い通りにいかないから 人生は面白い
曾野綾子
人生を爽やかに豊かに「生き抜く」ための極上の処方箋
人は必ず誰かに好かれ、必ず誰かに嫌われる。 (生きる力)と心からの満足感が確実に増える本